

一般 財団法人 山口県老人クラブ連合会〔きららシニア山口〕

きららシニア山口

vol.115

令和4年9月30日発行

笑顔で100歳を目指して!
市民センターグラウンドゴルフ同好会(下関市)
※活動内容は13ページをご覧ください。



目次 ~INDEX~

新執行部の抱負	1.2
県老連役員一覧	3
令和5年度 中国・四国ブロック老人クラスリーダー研修会実行委員会	4
令和4年度 若手委員会全体会議	5
令和4年度 女性委員会全体会議	6
単位クラス活動紹介/東陽クラス(下松市)	6
シニア社会貢献活動推進事業	
萩市老人クラス連合会(後小畑寿会)	7
美祿市老人クラス連合会(桃ノ木寿会)	8
周南市老人クラス連合会(湯野寿会)	8
研修会報告	
関係機関・団体と進める! マッチング会議(エリア版)	9
「SNSを活用した仲間づくりを進めよう」研修会	10
令和4年度 春の全国交通安全運動の実施について	
岩国市老人クラス連合会(由宇支部)	11
長門市老人クラス連合会(三隅支部)	12
下関市老人クラス連合会(小月支部 第7長寿会)	12
会員増強運動単位クラス紹介	
福生寿会第7クラス(山口市)	13
市民センターグラウンドゴルフ同好会(下関市)	13
令和3年度 市町老人クラス連合会代表者連絡会議	14
令和3年度 県老連事業報告の概要	15.16
令和4年度 県老連事業計画の概要	17.18
ニュースポーツ用具貸し出しについて / 原稿募集のお知らせ	19
老人クラス会員章のご案内 / 傷害保険 / 賠償責任保険	20
「憩いの家」指定施設のご案内	21
老人クラス入会のご案内	22.23

令和5年度
中国・四国ブロック老人クラブ
リーダー研修会実行委員会



立ち上げ!

新

執行部の抱負

会長

平田 武



コロナによる感染が終息
しませんが、行事等が制限
される状況が続いています
が、今年度はできるだけ実
施するように努力します。
中国・四国ブロック老人
クラブリーダー研修会が、
来年度、山口県で引き受け
ることになりました。やる
以上は、山口県らしさを出
せる大会にしたいと思いま
す。準備は、本年度から取
りかかります。皆様のご協
力どうぞよろしく願いま
します。

副会長

中村 勝一



引続き副会長をお引受け
しましたが、県老連に於い
ては会員増強が最大課題で
あります。19市町連合会の
執行部事務局長さん方が過
去5ヶ年間会員数を分析し
各地域の問題を提案して頂
ければ県老として共同した会
員増強に関するお手伝いを
します。
全国第3位の高齢化率の
現実を受け止めています。
2025年問題の高齢者を
生きがいある「幸福者」に
します。

副会長

河村 達丸



少子化、超高齢化という
大変厳しい時代の到来です。
特に高齢化社会は、逆三
角形の人口構成の中で公
助・共助・自助の時代とな
り、高齢者同志がさゝえあ
わなければなりません。
老人会活動尚一層大切な
時です。
県老連発展の為、微力な
がら精進させて頂きます。
どうぞよろしく願いま
します。

副会長

原田 邦昭



全老連が策定したメイン
テーマは、「のはそう！健
康寿命」と「担おう！地域
づくりを」の二つです。
これを果たすために、最
も大切なことは、前者が引
きこもりを無くし、認知
機能の低下を防ぐことであ
り、後者が、住み慣れた地
域を、より安全安心な地
域と、より安全安心な地
域を支えるための地域支え
活動です。
微力ながら、全老連のメ
インテーマ達成に向け努力
して参ります。宜しく願
い致します。

常務理事

小野 嘉孝



老人クラブ加入者の減少が続いています。原因として、社会や高齢者自身の意識の変化が言われていますが、健康寿命を延ばし、生きがいある生活をめざすことや、住みよい地域づくりを進めることの重要性は、時代が変わっても変わりありません。老人クラブで取り組むことの意義を多くの方に伝えていける県老連をめざしていきたいと考えています。

女性委員長

守田 節子



新型コロナウイルス感染症で思うように行事が3年間出来ない中、女性委員長に再度就任致しました。微力ながら一生懸命頑張りたいと思います。又令和5年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会では女性部会員の方々と手を取り合っており、手伝いが出来たらと思っています。よろしくお願い致します。

若手委員長

大寺 健一



県の若手委員会発足から3年が経過し、よちよち歩きながら、確実に成長している事を討議の場で実感しています。今後、全てのクラブに若手委員会を根付かせ、未熟だけど新しい風、力量不足だけど熱い思いを浸透させ、若手会員獲得に必要な魅力あふれる老人クラブ造に委員一同力を合わせ精進しますので、皆様のお力添えをお願いします。

きららシニア山口の活動を盛り立ててまいります！



一般財団法人
山口県老人クラブ連合会
役員改選

役 職	氏 名	県・市町老連等役職	備 考
会 長 (代表理事)	平 田 武	山陽小野田市老連顧問	重任
副 会 長	中 村 勝 一	山口市老連会長	重任
	河 村 達 丸	美祢市老連会長	重任
	原 田 邦 昭	周南市老連会長	重任
常 務 理 事 (業務執行理事)	小 野 嘉 孝	学識経験者	重任
理 事	久保田 達 也	下関市老連会長	重任
	長 尾 隆 治	防府市老連会長	重任
	六 反 弘 道	シニアクラブ下松会長	重任
	長 谷 亮 佑	学識経験者	重任
	守 田 節 子	県老連女性委員会委員長	重任
	稗 田 里 美	県老連女性委員会副委員長	新任
	弘 中 多 恵子	県老連女性委員会書記	新任
	大 寺 健 一	県老連若手委員会委員長	新任
	河 村 眞 須美	県老連若手委員会副委員長	新任
	石 川 宜 信	県老連若手委員会書記	新任
監 事	財 満 茂 樹	平生町老連会長	新任
	森 永 敏 夫	学識経験者	重任
評 議 員	惠 本 元	宇部市老連会長	重任
	藤 村 貢	山口市老連山口支部長	重任
	西 元 勇	萩市老連会長	重任
	藤 井 昭 久	岩国市老連会長	新任
	柳 通 江	光市老連会長	重任
	安 森 洋 祐	長門市老連会長	重任
	鬼 武 利 之	柳井市老連会長	新任
	沖 道 明	和木町老連会長	新任
	小 谷 典 子	学識経験者	重任
	松 田 信 夫	学識経験者	新任
	西 村 知 子	県老連女性委員会副委員長	新任
	武 田 宏 子	県老連女性委員会書記	新任
	佐 藤 龍 生	県老連若手委員会副委員長	新任
	吉 屋 啓 子	県老連若手委員会書記	新任

(敬称略)

県老連では6月15日、令和4年度定時評議員会において任期満了に係る理事・監事・評議員を選任しました。理事については、任期は令和4年6月15日から令和6年度定時評議員会終結時、監事・評議員については、任期は令和4年6月15日から令和8年度定時評議員会終結時となります。

令和5年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会 実行委員会（第1回）



来年の中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会は令和5年7月6日(木)・7日(金)、山口市湯田温泉の「かめ福オンブレイス」にて開催予定！

6月15日(水)に山口市の山口県社会福祉会館にて、令和5年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会実行委員会（第1回）を開催しました。

本研修会は、毎年7月に中国・四国ブロックの各県において持ち回りで開催しており、令和2年

度から令和4年度までの3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催がやむなく中止されましたが、来年度、山口県にて開催させていただくことが決定しました！

本県で引き受けるにあたり、県老連の会長・副会長・常務理事・女性委

員会・若手委員会から委員が選出され、実行委員会が立ち上がりました。

第1回の委員会では、会場の選定や、講師候補等について協議を行いました。

協議の結果、令和5年7月6日(木)・7日(金)に、山口市湯田温泉の「かめ福オンブレイス」にて開催することとなりました。

今春リニューアルオープンしたばかりの綺麗な会場にて、県内外の参加者の皆さんを心よりおもてなしいたします。

各県の皆さんが討議と交流を通じて、リーダーとしての資質向上と活動の充実発展に資することを願い、有意義な研修会となるよう、これから実行委員会でご案内させていただきます。来春には開催のご案内をいたしますので、どうぞ楽しみにお待ちください！

令和4年度 若手委員会全体会議 (第1回)

困ったときに相談し合える仲間づくりのきっかけとなるような情報交換の場を企画



初めての委員改選。18名が就任されました。



「仲間づくりに向けた情報交換会」について協議を重ねました。

県老連では、老人クラブ継続に必要となる会員の加入促進、若手リーダーの養成、そして若手パワワーの結集のために、6月7日(火)にKDDI維新ホール(山口市)にて、若手委員会全体会議(第1回)を開催しました。

県老連の若手委員会は3年前に立ち上がり、今年初めて委員改選の年です。各市町老連の御協力のもと、各地区の若手委員会や若手委員の代表者の方18名を御推薦いただき、委員に就任いただきました。

また、委員長は大寺健一さん(周南市老連)、副委員長は佐藤龍生さん(若国市老連)と河村眞須美さん(山口市老連)、書記は古屋啓子さん(萩市老連)と石川宣信さん(山陽小野田市老連)に決定しました。最初に、各市町の活動状況についてグループ形式にて情報交換を行いました。各市町において、若手を中心にそれぞれの地区の実情に合わせた活動を検討されており、若手ならではの活発な意見交換となりました。

今回は主に、令和4年9月26日(月)にKDDI維新ホールにて開催予定の研修会「仲間づくりに向けた情報交換会」について協議しました。県老連若手委員会では、老人クラブの未来を担う若手会員同士が連携し、困ったときに相談し合える仲間づくりのきっかけとなるように、情報交換の場を企画しております。当日は、会員増強に成功した単位クラブからの事例報告も予定しておりますので、是非御参加ください!

令和4年度 女性委員会全体会議 (第1回)

令和3年度事業報告、令和4年度事業計画、「健康づくり・介護予防セミナー」について協議



令和4年6月10日(金) K D D 1 維新ホール(山口市)にて、女性委員会全体会議(第1回)を開催しました。
今年度は委員改選の年です。各市町老連の御協力のもと、17名の御推薦をいただきました。委員長に山陽小野田市老連の守田節子さん、副委員長に防府市老連の西村知子さん、下関市老連の穂田里美さん、書記に山口市老連の武田宏子さん、周南市老連の弘中多恵子さんに就任いただきました。

今回は、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画及び「健康づくり・介護予防セミナー」について協議いただきました。
「健康づくり・介護予防セミナー」は2年に1度、女性委員会を中心となって行うセミナーです。11月29日(火)維新百年記念公園 維新大晃アリーナ内 視聴覚室及び武道館にて行う予定です。老人クラブ会員の皆さんも参加対象ですので、是非御参加ください。



pick up

単位クラブ活動紹介

滝の口公園の

清掃33年に

下松市の東陽クラブは、発足(平成元年(1989年)9月)当時から、会員同士の活動方針として、「楽しみと生きがい」を感じながら地域社会に貢献したいという思いで、滝の口公園の清掃活動を月1回(第1月曜日)に行っています。「お一人・一趣味・一貢献」をスローガンに公園清掃を続けて33年になります。

仲間と絆を深め地域で活躍！

シニア社会貢献活動推進事業

子供たちを育む心豊かな地域のために老人クラブが貢献しています。



中央が金メダリストの道下選手

「秋総合支援学校 開校30周年記念 スポーツ交流会」への参加
令和3年12月20日(月)
学校より、「東京パラリンピック金メダリストの道下選手とスポーツ交流する生徒を見ていただ



生徒を拍手で応援します

きたいので老人クラブの方を御招待したい。」と御案内をいただきました。道下選手と一緒に走る生徒を拍手で応援しました。
【活動での課題】
職業実習に協力していただく今後の課題です。実習先が増えることは障

害への理解を深めるだけでなく、寛容で働きやすい社会の実現につながるのではと思います。
【これから学校との取組を進める単位クラブへのアドバイスについて】
社協や行政の担当の方には老人クラブの活動に関心を持って下さる方が多いと感じています。相手の役に立つという発想で関係機関と話し合いをすすめることは今後ますます重要になってきます。皆で老人クラブ活動をエンジョイしましょう。

【連携する学校】
山口県立秋総合支援学校
(児童・生徒数75名)
老人クラブと学校(コミュニティ・スクール)との会合
第1回
令和3年6月28日(月)
第2回
令和3年9月21日(火)

「総合支援学校と進める世代間交流研修会」への参加
令和3年10月19日(火)
今後の交流に向けて、障害についての理解や生徒への合理的配慮について学びました。



山口学芸大学教育学部 松田教授の講義



質問する参加者

秋市老人クラブ連合会
後小畑寿会(会員数29人)

児童へ注意事項の説明



鮎の放流の様子

毎年8月には、小学校のグラウンドで盆踊り大会を行います。1か月前から児童へ踊りの指導を行います。踊りの練習を行うことは、次の世代に湯野小唄を伝承すること



学校の先生とは、課外活動の打ち合わせに協力をいただいています。また、活動の拠点になる湯野市民センターの方にも老人クラブ活動に理解をいただいています。

湯野寿会 (会員数97人)

周南市老人クラブ連合会

【連携する学校】
山口県立宇部総合支援学校 美祢分教室
(児童・生徒数10名)
【活動内容】
毎月第3金曜日にグラウンド・ゴルフをしています。
定期的に校舎周辺の草刈りをしています。
毎週木曜日に多目的ホールで百歳体操をしています。
【活動を振り返っての成果】
(活動を行って良かったこと)
一緒に活動することによって、生徒の方から挨拶や、声を掛けてくれることが増えました。子ども

桃ノ木寿会 (会員数31人)

美祢市老人クラブ連合会

もの声を聞くと「やってよかった」と思います。
美祢分教室は中等部までで、高等部は宇部総合支援学校へ行きます。卒業していく生徒と会えなくなるのは寂しいですが、それまで生徒を見守りたいと思っています。



児童と一緒に百歳体操

【活動内容】

【連携する学校】
周南市立湯野小学校
(児童数28名)

【活動内容】

【活動を振り返っての成果】
(活動を行って良かったこと)
学校の先生とは、課外活動の打ち合わせに協力をいただいています。また、活動の拠点になる湯野市民センターの方にも老人クラブ活動に理解をいただいています。

研修会報告

関係機関・団体と進める！

マッチング会議(エリア版)

地域における支え合い活動に
日頃の実践を活かそう！



現在、県内の老人クラブでは、若手会員の減少や社会状況の変化に伴い、会員及びクラブ数が毎年大きく減少する傾向にあります。今後は、老人クラブだけで課題を抱えるのではなく、地域の関係者と手を取り合い、活動を活性化させていくことが重要です。

こうした中、社会保障費及び介護人材の不足といった背景が

ら、介護保険サービスに加えて、「互助」を活かした、

地域における支え合い活動(介護予防・日常生活支援総合事業)の実践が各地で進められており、これまでの老人クラブ活動を活かした実践も広がっています。

そこで、地域の関係者との連携のきっかけづくりとして、地域における支え合い活動に老人クラブが関わることの意義や実践事例を関係者とともに学びました。

山口大学大学院医学系研究科の講師であり、県老連の理事でもある長谷亮佑氏を講師・コーディネーターとしてお招きし、各会場でご指導いただきました。

◆第1回

阿武会場／25人 光会場／41人
長門会場／中止



(1) 講義「老人クラブのこれから」を考える。連携による支え合いの実践に向けて」

老人クラブはスポーツ・文化活動を代表とする仲間づくりや健康づくりのほか、友愛訪問や美化活動などの地域を豊かにする活動や長寿

社会づくりに取り組んできた経緯を踏まえ、今後の地域共生社会に向けて老人クラブの力が不可欠である実情について講義をいただきました。

(2) グループワークでは「地域の支え合い活動を知る」「地域のこれからを考える」の2テーマについて協議し、自分の住む地域で何が課題となっているのか情報交換を行いました。

◆第2回

阿武会場／27人 光会場／36人
長門会場／中止

(1) 「地域の困りごとをどう解決するのか」第1回に参加できなかった方や内容を忘れてしまった方もグループワークに積極的に参加できるよう、第1回の内容

容を振り返りつつ講師から説明がありました。

(2) グループワークでは「地域の困りごとの共有」「連携した取組を考える」の2つのテーマからグループ内で支え合い活動について考えました。

一方的にサービスを受ける側に立つのではなく、住みよい地域となるために自分たちがどうすれば良いのか、参加者自身が主体性を持って臨みました。例えば「コミュニティセンターをいつ誰が来て大丈夫な拠点にしてはどうだろうか」という



どんな地域にしていきたいか、
アイデアが次々に出てきます



ひとりの提案に対して、「生活の困りごとの相談場所にならんかの」「おしゃべり目的で訪ねても良い雰囲気にしてほしい」といった具体的な意見がありました。参加者の皆さん自身の生活に直結するので、どなたも真剣に積極的に発言されていたのが印象的でした。

老連はもちろんのこと、行政、社協、包括、自治会、民生委員と様々な分野からの参加が得られたため、具体的に活発な協議が行われ、マッチングを果たすきっかけづくりとなりました。最後に講師から「話し合うだけでなく、実施してこそ活かされるのでぜひ今回話し合ったことの実現につなげてほしい」とメッセージが送られました。

「SNSを活用した 仲間づくりを進めよう」研修会



令和4年2月28日(月)、KDDI 維新ホール(山口市)204会議室にて県老連若手委員会の企画で「SNSを活用した仲間づくりを進めよう」を開催しました。

この研修会は、市町老人クラブ連合会若手会員や事務局職員で、普段スマートフォンやタブレットを使用されている方を対象として、新たな人間関係の構築や、活動の幅を広げることで地域支援活動に参加するきっかけづくりや仲間づくりを進めるためSNSを活用したコミュニケーション技法を学びました。

●事例発表 「SNSを活用した地域活動の実践事例」

山口市老人クラブ連合会女性委員長である武田宏子氏にLINEを使った連絡や情報共有の実践発表をいただきました。特に50〜60歳代の世代にフォークラスをあてて、老人クラブや地域活動への参加を促すために、SNSを活用する方法がなせ求められているのか、事例を通して理解を深めました。

●演習

「SNSを活用した仲間づくり」

携帯電話ショップより講師をお招きし、普段自分たちが使っている



るスマートフォンを使った仲間づくりを図るため、LINEによる情報発信、情報交換、ネットワーケの具体的な方法を学びました。画面でお互いの顔を見ながらの通話や、グループ内でメッセージを共有するなど、便利な機能が簡単な操作でできることを参加者同士で実際に体験すると会場のあちこちから「こりゃあ便利やな」「こんな簡単にできるんか」と歓声が上がりました。

研修終了後は、LINEの使い方などで困ったときにQ&A形式で確認できる資料が参加者限定で配布されました。この資料は若手委員のアイディアで配布したもので「1日研修で学んでもすぐ忘れてしまうから」と参加者から好評でした。

令和4年度春の全国交通安全運動における知事メッセージ

令和4年度春の全国交通安全運動について
交通安全の重要性は、時を越えて変わらぬものである。令和4年度春の全国交通安全運動は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小や中止などがされてきましたが、新しい生活様式に基づき、徐々に生活も戻りつつあります。そんな中、13市町老連において実施されました。

令和4年4月6日(水)から4月15日(金)までの10日間にわたり「令和4年度春の全国交通安全運動」が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小や中止などがされてきましたが、新しい生活様式に基づき、徐々に生活も戻りつつあります。そんな中、13市町老連において実施されました。

令和4年度

春の全国交通安全運動の実施について



岩国市老人クラブ連合会
由宇支部

岩国市老人クラブ連合会由宇支部では、交通安全キャンペーンとして、幟旗を持って行進をし、その後、丸久由宇店でヒラや反射材を配布しました。



長門市老人
クラブ連合会
三隅支部



長門市老人クラブ連合会三隅支部では、横断歩道の安全確保と通学バス乗車指導が行われました。「バス通学をする児童の大変さを実感しました。」「手のあげ方は、上にあげるのか前に出すのかどちらが正しいのかなと思った。」と感想がありました。

下関市老人
クラブ連合会
小月支部
第7長寿会



下関市老人クラブ連合会小月支部第7長寿会では、小月神社前交差点にて、交通立哨と見守り活動を行いました。



ご参加いただいた皆さん
お疲れさまでした。

会員増強運動 単位クラブ紹介

会員増強報奨金とは、㈱シニアサービス社からの寄付金を財源とし、山口県内の老人クラブ会員増強の推進にあたり、他の模範となる取組を行う老人クラブに交付するものです。申請があった単位クラブの中から、新設と復活の2つの単位クラブのご紹介をします。

復活クラブ



篠生寿会第7クラブ(山口市)
代表者「河村 文雄さん」

市道での空き缶拾い

5年前にクラブが消滅していたが、寿会杉会長から「復活してほしい」と依頼がありました。もともと仕事で家々を回る仕事があったので、「元気がかかると声をかけて、クラブに入ってもらおうように誘いました。復活したときは15人でしたが、今年増えて現在19人になりました。寿会は単老6クラブの連合会で170人ほどいます。グラウンドゴルフ、輪投げ、ポッチャ等を楽しんでいきます。

クラブには、70代が6人います。同級生です。団塊の世代と言われているので、声をかけずに無視することが一番いけません。これから元気に活動したいと思います。

新設クラブ



市民センターグラウンドゴルフ同好会(下関市)
会長 梶原 英生さん

グラウンドゴルフ同好会の活動

「ナイスショット」。毎週水曜日と金曜日の午前9時、下関市民センターのグラウンドには元気な声が響き渡ります。市民センターグラウンドゴルフ同好会の皆さんです。母体は約30年前にできた年金協会主催のグラウンドゴルフ活動。令和2年に一度廃止となりましたが、有志で新たな単位クラブ



「市民センターグラウンドゴルフ同好会」を立ち上げ、活動を続けています。

会員は31人。近隣の老人クラブ会員も18人参加しており、会長の梶原英生さんと世話人の西典子さんを中心に活動しています。特徴は「ホールインワン募金」。年4回ほど開催される同好会主催の大会で賞品などに活用しています。

「目的は年2回、下関市老人クラブ連合会の大会出場と、100歳を目指し適度な運動・規則正しい生活・趣味を生かした日々を過ごすよう努めることです」と、梶原会長は笑顔で話しました。

令和3年度

市町老人クラブ連合会 代表者連絡会議



て、県老連事務局長の岡村昌一郎より説明しました。

(2) 事業説明①「令和4年度山口県老人クラブ連合会事業方針(案)」

県老連の事業方針について、新規事業「仲間づくりに向けた情報交換会の開催(全県1回 9月)」や重点事業「地域で活躍! シニア社会貢献活動推進事業」等を中心に、県老連活動推進員の光安信介より説明しました。

(3) 事業説明②「令和4年度地域支援担い手育成加速化事業」

県委託事業である「地域支援担い手育成加速化事業」の概要やモデル指定状況や実践について、県長寿社会課班長 貞弘純也氏より説明をいただきました。

(4) 情報交換

最初に令和3年度11月から12月にかけて実施した「市町老連巡回訪問」にて各市町老連から集約したご意見・状況・要望等を事務局より報告した後、会長部会・事務

局部会・女性部会・若手部会の4部会で情報交換を行いました。

会長部会・事務局部会では市町老人クラブ連合会の現状と課題である「組織・活動への影響、他団体への関わり」、「会員加入への働きかけや周知」について情報交換を行いました。

また、女性部会・若手部会では、「新しい生活様式」における今後の老人クラブ活動の取組である「工夫を凝らした老人クラブ活動」や「オンラインやSNSを活用した情報収集・発信・仲間づくり」について情報交換を行いました。



会長部会の様子



事務局部会の様子

令和4年3月9日(水)午後には山口県社会福祉会館(山口市)にて、各市町老連の会長、副会長、女性委員、若手委員、事務局職員等45人が参集し、市町老人クラブ連合会代表者連絡会議を開催しました。

(1) 概況報告「令和3年度都道府県・指定都市老連代表者会議」

全老連主催の都道府県・指定都市老連代表者会議は中止となりましたが、配布された資料の要点や社会情勢・制度の変更点等につい

令和
3
年度

一般財団法人山口県老人クラブ連合会

事業報告の概要

令和3年度事業報告について、概要を報告します。
なお、事業報告の詳細及び決算報告については、県老連のホームページにてご覧いただけます。

I 基本方針

「新しい生活様式」の下での県市町老連の連携強化と会員増強の推進

II 重点事業

1 県市町老連の連携強化

- (1) 市町老連巡回訪問等の実施
- (2) 市町老連運営研究協議会及び市町老連代表者連絡会議の開催
- (3) 県市町老連若手委員会委員の連携強化

ア 若手委員会の開催

イ 正副委員長会議

(4) 市町老人クラブ連合会の活動実態に関する調査・分析

2 会員増強の推進

- (1) 会員増強市町連合会への報奨事業
- (2) 若手委員会未設置市町老連への設置支援
- (3) 若手会員増強に向けた研修会の開催

ア SNSを活用した仲間づくりを

すすめよう研修会の開催

期日 令和4年2月28日(月)

場所 (山口市)KDDI維新ホール

内容 事例発表「SNSを活用した地域活動の実践事例」

発表者 山口市老人クラブ連合会

女性委員長 武田宏子氏

演習 「SNSを活用した仲間づくり」

参加者数 9人

イ 地域活動を進める支援者のためのセミナーへの参加(県社協主催)

期日 令和3年9月22日(水)

場所 (山口市)KDDI維新ホール

内容 講義「まるわかり！地域活動の促進方法」

講師 国土技術政策総合研究所
都市開発研究室

室長 石井儀光氏

事例発表 「地域活動実践のヒント

『可能性は無限大8』

発表者 生活協同組合コープやまぐち組合員活動管理

常任理事 福浪美紀氏

参加者数 22人

3 地域による支えあい活動等への参画

(1) 地域支援担い手育成加速化事業の実施

ア 地域支援事業専門推進員及び

コーディネーターの配置

イ 関係機関・団体と進める「県下合同マッチング会議」の開催

ウ 関係機関・団体と進める「マッチング会議(エリア版)」の開催

モデル指定地域…

光市、長門市、阿武町

エ 活動推進リーダーフォローアップ研修

(2) 地域で活躍！シニア社会貢献活動推進事業の実施

ア 特別支援学校の児童生徒や、合理的配慮等を理解する研修会の開催

期日 令和3年10月19日(火)

場所 (萩市)萩市総合福祉センター

内容 講義

「総合支援学校ってどんなところ？地域住民に知っていただきたいこと」

山口県教育庁特別支援教育推進室

主査 刀祢龍樹氏

「障がいについての基本的理解と関わる際に意識すること」

山口学芸大学教育学部

教授 松田信夫氏

III 主要事業

1 老人クラブ組織間の連携強化・人材育成に関する事業

中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会開催に向けた準備 他

2 村おこし・町おこし運動推進事業等の実践

(1) 新「村おこし・町おこし運動」の推進と活性化事業の実施

(2) 全国一斉「社会奉仕の日(9月20日)」の実践

実施クラブ数 767クラブ

参加者数 11,641人

(うち、非会員数1,695人)

3 指導者研修事業

(1) 女性委員会の運営

(2) 女性委員会の運営

(3) 女性委員会の運営

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	基本財産受取利息	26	26
特定資産運用益	特定資産受取利息	819,696	741,060
受取会費	会費収益	4,293,000	4,548,100
事業収益		118,882	130,666
助成金収益	会員章拠金収益	32,000	27,000
	事業運営費補助金	3,748,000	2,874,000
受取補助金等	活動推進員設置補助金	956,000	2,140,000
	シニア社会貢献活動推進事業補助金	512,000	717,000
受託金等収益	地域支援担い手育成加速化受託金収益	8,434,000	8,629,000
受取寄付金			1,000,000
雑収益	受取利息	81	63
	雑収益	112,000	100,000
経常収益計		19,025,685	20,906,915
(2) 経常費用			
事業費	諸謝金	315,180	889,340
	会議費	119,000	75,411
	旅費交通費	948,629	1,415,391
	通信運搬費	1,137,000	740,000
	消耗品費	400,000	429,890
	印刷製本費	1,449,000	1,438,860
	賃借料	654,000	737,379
	業務委託費	607,415	29,040
	租税公課	10,200	10,400
	支払負担金	10,499,000	10,469,000
	支払助成金	510,000	320,000
	支払手数料	8,360	13,860
	表彰弔慰費	152,835	158,110
	雑費	2,000	2,000
	管理費	旅費交通費	163,630
会議費		500	6,000
消耗品費		65,356	4,620
印刷製本費		42,000	33,000
通信運搬費		32,000	15,782
業務委託費		105,600	105,600
賃借料		187,000	119,265
支払負担金		1,284,312	883,790
支払手数料		17,185	18,793
保険料支出		38,520	
支払助成金			958,000
雑費	8,133	32,250	
租税公課	245,040	116,900	
経常費用計	19,001,895	19,126,771	
評価損益等調整前当期経常増減額	23,790	1,780,144	
評価損益等計			
当期経常増減額	23,790	1,780,144	
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券償還差益	32,230		
経常外収益計	32,230		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	当期経常外増減額	32,230	32,230
	税引前当期一般正味財産増減額	56,020	1,780,144
	当期一般正味財産増減額	56,020	1,780,144
	一般正味財産期首残高	205,905,778	204,125,634
	一般正味財産期末残高	205,961,798	205,905,778
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
当期基金増減額			
基金期首残高			
基金期末残高			
III 正味財産期末残高	205,961,798	205,905,778	56,020

4 各種大会運営事業

ねんりんピック山口2021（山口県健康福祉祭）スポーツ文化交流大会・美術展の主催 他

5 福祉増進事業

(1) 政策提言・要望活動に関する事業
ア 自由民主党山口県支部連合会政
策聴問会
イ 山口県知事要望 他

6 表彰弔慰事業

(1) 広報誌の発行等
ア 「きらりシニア山口」
(年2回 各3,000部)の発行
イ 市町(支部)老連の会報・広報誌の共有

新ウ
ウェブサイトの更新
効果的な広報手段・媒体の検討、

7 広報・普及啓発事業

(2) 図書、保険、会員章の頒布及び普及啓発
(3) 「老人の日(9月15日)・老人週間(9月15日～21日)」の普及啓発
(4) 「健康福祉月間(10月)」「生涯現役社会」づくり推進月間(10月)の普及啓発

8 関係機関・団体との連携、安心・安全な地域づくりに関する事業

9 全国及び他県老人クラブ連合会主催の会議・研修会等への出席

10 組織運営・管理に関する事業



令和4年度

一般財団法人山口県老人クラブ連合会 事業計画の概要

令和4年度事業計画について、重点事業と新規事業の概要を紹介します。
なお、事業計画の詳細については、県老連のホームページにてご覧いただけます。

I 基本方針

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」

II 重点事業

1 「のばそう！健康寿命を」
「生きがいづくりと仲間づくり」

- (1) 会員増強への報奨事業
- (2) 市町老連若手委員会への支援
- 新 (3) 仲間づくりに向けた情報交換会の開催 (全県1回 9月)

2 「担おう！地域づくりを」
「地域における支えあい活動の推進」

- (1) 地域支援担い手育成加速化事業
- 【県受託事業】の実施
- ア 地域支援事業専門推進員及びコーディネーター配置による推進体制の充実
- イ マッチング会議の開催 (全県1回、県内3会場 各1回)
- ウ 活動推進リーダーフォーラム研修の開催(県内2会場 各1回)
- エ SNSを活用した仲間づくり研修の開催 (9月26日 山口市)
- (2) 地域で活躍！シニア社会貢献活動推進事業【県補助事業】の実施

III 事業計画

1 老人クラブ組織間の連携強化・人材育成に関する事業

- ア 特別支援学校や合理的配慮等を理解する研修会の開催 (動画配信形式)
- イ モデルクラブの指定(3地区)及び世代間交流への支援
- ウ 活動事例集の作成及び配布

- (1) 市町老人クラブ連合会運営研究協議会の開催 (9月7日 山口市)
- (2) 市町老人クラブ連合会代表者連絡会議の開催 (3月6日 山口市)
- (3) 市町老人クラブ大会、総会等への県老連役員の出席
- (4) 山口県総合社会福祉大会部会報告における実践申合せ事項の推進
- (5) 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会の開催に向けた準備
- (6) 活動推進員等職員セミナー(全老連)への参加 (8月8日 東京都)
- (7) 全老連創立60周年記念大会への参加 (11月8日 東京都)

2 村おこし・町おこし運動推進事業等の実践

- (1) 新「村おこし・町おこし運動」の推進と活性化事業の実施

- (2) 全国一斉「社会奉仕の日(9月20日)」の実践

3 調査研究事業

- (1) 市町老連巡回訪問等の実施
- (2) 市町老人クラブ連合会の活動実態に関する調査・分析

4 指導者研修事業

- (1) 女性委員会の運営
- 新「健康づくり・介護予防セミナー」の開催(11月)
- (2) 若手委員会の運営

5 各種大会運営事業

- (1) 第72回山口県総合社会福祉大会の主催 (11月10日 山口市)
- (2) ねんりんピック山口2022(山口県健康福祉祭) スポーツ文化交流大会の主催
- (3) ねんりんピック山口2022(山口県健康福祉祭) 美術展の主催
- 6 福祉増進事業
- (1) 政策提言・要望活動に関する事業
- (2) 中国ブロックの連携に関する事業
- (3) 健康づくり・介護予防活動の推進に関する事業

7 表彰弔慰事業

- (1) 山口県老人クラブ連合会表彰の推薦
- 新 (2) 厚生労働大臣表彰の推薦(厚生労働省事業)
- (3) 全国老人クラブ連合会表彰の推薦
- (4) 全国老人クラブ連合会「活動賞」の推薦等

8 広報・普及啓発事業

- (1) 広報誌の発行等
- (2) 図書、保険、会員章の頒布及び普及啓発
- (3) ホームページの管理運営
- (4) 「憩いの家」指定施設の新規開拓、周知案内
- (5) 「老人の日(9月15日)・老人週間(9月15日～21日)」の普及啓発
- (6) 「健康福祉月間(10月)」・「生涯現役社会づくり推進月間(10月)」の普及啓発

9 関係機関・団体との連携、安心・安全な地域づくりに関する事業

10 全国及び他県老人クラブ連合会主催の会議・研修会等への出席

11 組織運営・管理に関する事業

一般財団法人山口県老人クラブ連合会 令和4年度 収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考	勘定科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部					2. 事業活動支出				
1. 事業活動収入					(1)事業費支出				
(1)基本財産運用収入	1,000	1,000	0		(1)事業費支出	17,811,000	17,623,000	188,000	
基本財産利息収入	1,000	1,000	0		会議費支出	101,000	121,000	△20,000	
(2)特定資産運用収入	816,000	739,000	77,000		旅費交通費支出	1,667,000	1,473,000	194,000	
特定資産利息収入	816,000	739,000	77,000	シルバー-基金 利子収入	通信運搬費支出	657,000	770,000	△113,000	
(3)会費収入	4,293,000	4,548,000	△255,000		消耗品費支出	322,000	414,000	△92,000	
会費収入	4,293,000	4,548,000	△255,000	会員数×100円	印刷製本費支出	1,174,000	1,143,000	31,000	
(4)事業収入	105,000	105,000	0		賃借料支出	914,000	589,000	325,000	
事業収入	105,000	105,000	0	傷害保険広告料、 回書等郵送料	諸謝金支出	979,000	1,106,000	△127,000	
(5)助成金収入	15,000	15,000	0		負担金支出	10,669,000	10,680,000	△11,000	県社協事務局 負担金
会章章拠金収入	15,000	15,000	0	会章の販売 助成金	助成金支出	1,030,000	1,050,000	△20,000	
(6)補助金等収入	5,216,000	5,216,000	0		業務委託費支出	29,000	29,000	0	
事業運営費補助金 収入	3,748,000	3,748,000	0		手数料支出	26,000	26,000	0	
活動推進員設置補 助金収入	956,000	956,000	0		租税公課支出	10,000	10,000	0	
シニア社会貢献活動 推進事業補助金収入	512,000	512,000	0		表彰弔慰支出	197,000	188,000	9,000	
(7)受託金収入	8,613,000	8,613,000	0		雑支出	36,000	24,000	12,000	
地域支援担い手育 成加速化事業受託 金収入	8,613,000	8,613,000	0		(2)管理費支出 (法人支出)	2,391,000	2,377,000	14,000	
(8)共同募金配分金収入	0	0	0		会議費支出	10,000	14,000	△4,000	
共同募金配分金収入	0	0	0		旅費交通費支出	310,000	310,000	0	
(9)寄附金収入	1,000	1,000	0		通信運搬費支出	32,000	32,000	0	
寄附金収入	1,000	1,000	0		消耗品費支出	50,000	50,000	0	
(10)雑収入	2,000	2,000	0		印刷製本費支出	42,000	75,000	△33,000	
受取利息収入	1,000	1,000	0		賃借料支出	227,000	287,000	△60,000	
雑収入	1,000	1,000	0		保険料支出	39,000	42,000	△3,000	役員傷害保険
事業活動収入計	19,062,000	19,240,000	△178,000		租税公課支出	246,000	125,000	121,000	
					負担金支出	1,303,000	1,311,000	△8,000	全老連分担金、 県社協団体費等
					業務委託費支出	106,000	106,000	0	
					手数料支出	18,000	18,000	0	
					雑支出	8,000	7,000	1,000	
					事業活動支出計	20,202,000	20,000,000	202,000	
					事業活動収支差額	△1,140,000	△760,000	△380,000	

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	222,000	0	222,000
投資活動収支差額	△222,000	0	△222,000

III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

IV 予備費支出			
当期収支差額	△1,362,000	△760,000	△602,000
前期繰越収支差額	4,103,000	4,323,000	△220,000
次期繰越収支差額	2,741,000	3,563,000	△822,000





挑戦してみませんか？ ニュースポーツ

※今年度より「クッブ」「健康マーじゃん」「ポッチャ」の道具貸し出しを開始します。

県老連の事務局を委託している山口県社会福祉協議会では、シニアの方々が、世代間交流や健康づくり、仲間づくりに利用ができるように、ニュースポーツ用具の無料貸し出しを行っています。

カローリング

メジャー用、ジュニア用
×各1セット



ビーンボウリング

2セット



クッブ（薪投げ）

2セット



ペタンク

屋外用
12球入り × 2セット
6球入り × 3セット
室内用
12球入り × 2セット



グラウンド・ゴルフ

8ホールポスト × 2セット
スティック6本入り × 8セット



ポッチャ

12球入り × 2セット



ターゲットバードゴルフ

1セット
※アイアンは含みません。



健康マーじゃん

麻雀牌、麻雀卓 × 2セット
※椅子は含みません。



ダーツ

2セット



輪投げ

1セット



【予約、問合せ】 山口県社会福祉協議会 地域福祉部 生涯現役推進センター TEL (083)928-2385 ニュースポーツ担当



す。ご了承ください。

は、掲載を次号にさせていただきます。ご了承ください。

【写真】
【給手紙】
【川柳】
【俳句】
皆様からの投稿をお待ちしております。

☆募集します☆



仲間のしるし 会員章を胸に活動の輪を広げましょう

老人クラブ会員章

昭和から令和、そして新しい時代へ…
私たち老人クラブは、活動の輪を広げ、今日、我が国有数の高齢者組織へと発展してきました。

また、仲間同士の一層の結束を求めて、昭和30年代には、全国各地に老人クラブ連合会が次々に設立されました。そのなかで、昭和37年(1962年)に創立された全国老人クラブ連合会は、2022年、創立60周年を迎えます。

このたび、創立60周年を記念して全国老人クラブ会員章を、新たに作成しました。

記念会員章を着用して、私たち老人クラブの輪をさらに大きく広げましょう!

1口 1,000円《期間限定 2019年～2022年》



創造と連帯のシンボル
《創立60周年記念会員章》
原寸大 直径 17 mm

全国共通の仲間のしるし 《通常の会員章》



原寸大 縦 13 mm
横 18 mm
1口 1,000円

- 末広鶴と日の丸：鶴（高齢者）が両翼を扇（末広）状に広げて、日章（日本）を担っている図。高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えて、地域社会に寄与する高齢者を表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。
- 色彩：内側の円（日章）が赤。外側の鶴が白。外周線を金色とする。

申込み先：山口県老人クラブ連合会

TEL：083-924-2838

FAX：083-928-2387

いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込み団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。

〔資料請求受付期間〕【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

傷害保険 自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)

- ①対象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
- ②保険始期月および保険期間：年に2回の募集となります。

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
10月	7月15日～9月15日まで	10月1日午後4時から1年間
4月	1月15日～3月15日まで	4月1日午後4時から1年間

- ③補償範囲・掛金タイプ：◆24時間型…日常生活全般のケガを補償(新型コロナを含む※特定感染症危険補償特約付)。自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償、熱中症危険補償が付いたタイプもあります。

◆活動型…老人クラブ活動中のケガを補償

賠償責任保険 他人の物を壊したり、ケガをさせた時^{*1}の保険。(自分のケガは対象外)

*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

- | ①対象 | ②保険期間 | ③掛金 | ④補償 |
|-----------------------|-------------------|-------------------------|----------|
| 単位老人クラブ(全員加入が条件となります) | 毎年10月から1年間(中途加入可) | 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) | 支払限度額1億円 |

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

専用FAX 03-3597-8767 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-itd.com/> メールアドレス hoken@senior-itd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL 03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL 03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付傷害保険・総合生活保険(傷害補償)
【老人クラブ団体賠償責任保険】

施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険
ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「要約」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2022年3月作成 21-TC11211

きららシニア山口

「憩いの家」指定施設

★契約期間★ 令和4年10月1日～令和6年9月30日

おんせんの森

〒753-0056

山口市湯田温泉 4-7-17

TEL：083-920-1126

FAX：083-920-1177

ホームページ：<http://onsen-mori.com>

	休憩入浴 (食事付)	入浴
個人	2,500	900
団体	2,300	800

料金(単位：円)



※団体は、16人以上。

紫水園

〒745-1132

周南市湯野 4341

TEL：0834-83-2345

FAX：0834-83-2347

ホームページ：<http://www.shisuien.com>

	休憩入浴 (食事付)	入浴
個人	3,500	550
団体	3,000 (10人以上)	500 (15人以上)

料金(単位：円)



※無料送迎は、30分圏内、10人以上、5,000円以上のプランご利用で承ります。

長崎ブルースカイホテル

〒852-8007

長崎市江の浦町 18-1

TEL：095-861-6411

FAX：095-861-2531

ホームページ

<http://www.skyhotel2.jp/>

宿泊	個人	7,000
	団体	6,600

料金(単位：円)



※団体は、8人以上。
※休憩入浴はありません。
※長崎駅⇄ホテル間の送迎無料(8人以上)

※「憩いの家」指定料金は、一般の利用料金より、割引きになっています。

※料金の区別「個人」「団体」とは、老人クラブ会員です。

※割引除外のサービスや宿泊プラン等詳細については、各施設にお問い合わせください。

※長崎ブルースカイホテルのパンフレットを御希望の方は県老連事務局まで御連絡ください。



スポンサーへの御礼

このたびは、「きららシニア山口」の発行にあたりまして広告掲載のご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも末永きご支援をよろしくお願い申し上げます。

あなたもクラブの仲間と一緒に

生活を豊かにする活動 地域を豊かにする活動へ 参加してみませんか？

老人クラブ入会のご案内

地域貢献

地域づくり

地域の支え合い活動、
子どもの見守り活動、
環境美化等



同世代の交流

仲間づくり

見守りの声かけ、友愛活動、
サロン活動等



老人クラブに参加して、
一緒に笑顔あふれる毎日を
過ごしましょう。

健康寿命を伸ばす

健康づくり

健康学習、運動、体操、
体力測定等



高齢期の充実

生きがいづくり

趣味、文化、ボランティア活動、
レクリエーション等



問い合わせ先



一般財団法人 **山口県老人クラブ連合会**
[きららシニア山口]

きららシニア山口

検索

<http://kirarasenior.jp>

クリック!!

TEL. 083-924-2838
FAX. 083-928-2387

〒753-0072 山口市大手町9番6号
(社会福祉会館内)

老人クラブとは

～地域を基盤とする高齢者の自主的な組織です～

活動の目的

仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、**生活を豊かにする楽しい活動**を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、**地域を豊かにする社会活動**に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。



会員

入会を希望する高齢者で、**おおむね60歳以上**の方を対象としています。

組織

日常的に声をかけ合い、**歩いて集まることのできる小地域の範囲**で組織しています。クラブの規模は**おおむね30名から100名**を標準としています。

山口県 老人クラブ情報

「山口県老人クラブ情報」ホームページでは、山口県内で活動されているクラブを地域・活動内容別で**“簡単に検索”**することができます。

パソコン <https://y-seniorclub.com>

携帯電話からは
こちらが便利！



山口県老人クラブ情報

検索

クラブ入会申し込み書

入会を希望される方は、単位クラブ又は市町老連事務局に、直接お申し込みください。

申込日	年	月	日
ふりがな氏名			男 女
住所	(〒 -)		
電話番号	() -	生年月日 (歳)	昭和 年 月 日生

※この申込書は、入会手続き以外には使用しません。

発行／一般財団法人 山口県老人クラブ連合会（きららシニア山口）
事務局 〒753-0072 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館内 TEL.083-924-2838 FAX.083-928-2387
編集協力／株式会社博報社 〒547-0026 大阪市平野区喜連西4-6-69 TEL.06-6797-0212 FAX.06-6797-0479